

チャレンジ ワークシート①

名前	組 番	月 日	正答数
			7

ねらい ●そつごう問題にチャレンジして、さらに力をつける。

もんだい

つぎの文しようを読んで、あとのもんだいに答えましよう。

山の竹やぶに、とらがすんでいた。名前はトラノ・トラゴロウといった。トラゴロウはまいにち竹やぶの中であぐらをかいて、きせるでたばこをふかしていた。でも、たばこばかりふかしているとおなかがへってしまうから、竹やぶの外をだれかが通りかかったら、つかまえてむしゃむしゃ食べてしまうことにしていた。

ある日、竹やぶの外をりょうしが通りかかった。トラゴロウはちようどおなかがぺこぺこだったので、さっそくりょうしをつかまえてひとくちにのみこもうとした。

りょうしは町へ出かけるとちゆうでてっぽうをもっていなかったので、どうすることもできなかった。

トラゴロウのまっかな口とながあいしたときらきら光っているきばを見ると、りょうしはがたがたふるえだした。

「た、たすけてくれトラゴロウ。いいものをあげるから、わしを食べるのはやめてくれ。」
「なんだい、いいものって？」

と、トラゴロウがきいた。
すると、りょうしはぼけっこの中からさびたかぎを出して、トラゴロウにわたした。

「なあんだ、ただのかぎじゃないか。」
トラゴロウが、つまらなそうにいうと、りょうしはあわててせつめいをはじめた。

「いやいや、それはただのかぎじゃないんだ。ここから山をこえ川をわたり森をぬけたところに、のはらがあ**る**。のはらのま**ん**な**か**には、まつの木が一本立っている。そのまつの木のねもとをほると、は**こ**が**出**てくるはずだ。そのは**こ**をこのかぎであけてごらん。きっとトラゴロウの食べたいものが入っているよ。」

「ふうん、なんだかへんだけどしかたがないや。こんどだけはおまえを食べないでおいでやろう。」

トラゴロウは、せっかつかまえたりょうしをはなしてやるのがざんねんでざんねんでたまらなかつたけど、がまんしてはなしてやった。

(小沢正「目をさせませトラゴロウ」より)

(1) まいにちを、かん字に直して書きましょう。

(2) 光の読み方を、ひらがなで書きましょう。

(3) ひとくちにのみこもうとしたとありますが、トラゴロウに食べられそうになって、りょうしはどんなようすになりましたか。文しよう中から十字でぬきだしましょう。

(4) いいものとは、何でしたか。文しよう中から二字でぬきだしましょう。

(5) ぼけっと、せつめい、のはら、まんなかのうち、かたかなで書くことばはどれですか。そのことばを、かたかなに直して書きましょう。

(6) はこには何が入っていると、りょうしは言いましたか。つぎの□にあてはまることばを、文しよう中からぬきだしましょう。

- (7) 文しようの内ように合っているものを、つぎから一つえらびましょう。
- 1 りょうしは、トラゴロウをうったため、てっぽうをあわててとりだした。
 - 2 りょうしは、トラゴロウをまつの木のところにつれていくことにした。
 - 3 トラゴロウは、りょうしの話聞いて、りょうしをはなしてやった。
 - 4 トラゴロウは、りょうしをたべてしまうのは、ざんねんだと思った。

〔 〕

- (1) 毎日
(2) ひか(って)
(3) がたがたふるえだした
(4) かぎ
(5) ポケット
(6) トラゴロウ 食べたい
(7) 3

- (3) トラゴロウの口、した、きばを見て、「りょうしはがたがたふるえだした」と書かれていますね。
- (4) トラゴロウに「なんだい、いいものって？」ときかれたりょうしは「さびたかぎ」をだして、トラゴロウにわたしました。
- (6) このあと、りょうしは「そのはこをこのかぎであけてごらん。きっとトラゴロウの食べたいものが入っているよ」と言っています。
- (7) はこの中に「食べたいものが入っている」と聞いて、トラゴロウはりょうしを「がまんしてはなしてやった」のです。

チャレンジ ワークシート ②

名前	組 番	月 日	正答数
			7



●この問題にチャレンジして、さらに力をつける。

もんだい

つぎの文しようを読んで、あとのもんだいに答えましよう。

ギンナンを食べたことがありますか。ギンナンは、イチヨウのたねです。とてもかたい皮かわにつつまれています。

ギンナンがたねだとすると、かなづちでたたかかないとわれないほどの、かたい皮をやぶって、めが出てくるはずですね。そこで、ギンナンを土にうめてみました。すると、どうでしょう。ギンナンのすじのところがわれて、根ねがのび、やがて、めが出てきました。そして、つぎつぎと出てきた葉はは、イチヨウの葉とそっくりです。ギンナンは、まちがいなく、イチヨウのたねでした。

それでは、ギンナンをつくる花は、どんな花でしょう。イチヨウの花は四月ごろさきますが、花びらがなくてめだたないので、きをつけて見ていないと見つけることができません。

イチヨウの花には、め花はなとお花はながあります。そして、め花をつける木き(め木)と、お花だけをつける木き(お木)にわかれています。

お花の花粉かふんは風ではこばれてきます。これをめ花がうけとらなければなりません。そこで、め花は、うまいしくみをもっています。め花の先にとうめいなえきを出して、水玉を作ります。この水玉に花粉がくっつくのです。すると、えきはしだいにかわいて、花粉はめ花の中にすいこまれるのです。

花粉をうけとっため花は、秋には、黄色いくじゆくしたたねを作ります。じゆくしたたねの外がわの皮はやわらかく、これをつぶすと、いやなにおいがします。このぶぶんをきれいにとってしまったのが、ギンナンです。

② そてつやアオキなども、め木とお木にわかれてる植物しよくぶつのなかまです。

(真船和夫・江川多喜雄「花の咲くひみつ」より)

(1) きを、かん字に直して書きましょう。

(2) 黄色の読み方を、ひらがなで書きましょう。

(3) ^①ギンナンを土にうめてみましたとありますが、このあと、ギンナンはどうになりましたか。つぎの□にあてはまることばを、文しゅう中からぬきだしましょう。

のところがわれて、根がのび、

が出てきた。

(4) イチヨウの花粉は、何ではこばれますか。文しゅう中からぬきだしましょう。

(5) イチヨウのたねができるのはいつですか。つぎから一つえらびましょう。

- 1 春 2 夏 3 秋 4 冬

(6) ^②そてつを、かたかなに直して書きましょう。

(7) 文しゅうの内ように合っているものを、つぎから一つえらびましょう。

1 イチヨウの花は四月ごろにさき、花びらがめだつのでかんたんに見つけることができる。

2 イチヨウの花にはめ花とお花があり、一本の木に、め花とお花のりょうぼうがつく。

3 イチヨウの花粉は、め花の先にできた水玉にくつつき、やがて花の中にすいこまれる。

4 イチヨウのじゅくしたたねの外がわの皮はとてもかたく、つぶすといやなに

- (1) 気
(2) きいろ
(3) すじめ
(4) 風
(5) 3
(6) ソテツ
(7) 3

- (3) 二つあとの文から、ギンナンがどうなったかを読みとりましよう。
- (4) 十三行めに、「お花の花粉かぶんは風ではこばれてきます」と書かれていますね。
- (5) 十七行めに、「花粉をうけとっため、花は、秋には、黄色くじゅくしたたねを作ります」とあります。
- (7) 第五段落だんらくから、め、花が花粉をうけとるしくみを読みとりましよう。3は、この内ように合っています。